

Notice ご存知ですか？パーキング・パーミット制度 区画が必要な方のために、ご理解とご協力をお願いいたします。

埼玉県思いやり駐車場制度(パーキング・パーミット制度)とは、障害のある方や要介護状態の方、高齢者の方、妊産婦の方など、歩行が困難な方と認められる方に「利用証」を交付し、公共施設や商業施設などに設置されている「車椅子使用者用駐車区画」及び「優先駐車区画」について適正利用を推進する制度です。

パーキング・パーミット制度を導入するため、「埼玉県福祉のまちづくり条例」を改正して「埼玉県思いやり駐車場制度」を令和5年11月1日から開始しました。

制度の対象となる駐車区画(協力区画)は①「車椅子使用者用駐車区画」では、車椅子を使用する方が車から乗降できるように幅3.5m以上の幅広区画となっており、②「優先駐車区画」は、幅3.5m未満の通常幅区画で、障害のある方や要介護状態の方、高齢者の方、妊産婦の方など、歩行が困難な方のための区画としての設置のご協力をお願いしています。

利用される方は、利用証の交付のためには、障害者手帳、難病関係受給者証、介護保険被保険者証、母子健康手帳などをお

持ちの方のうち、交付基準を満たす方は各市町村の窓口で申請が必要となります。



利用証(3種類) ※駐車時にルームミラーに掲示

交付対象者、申請方法は県ホームページで確認できます



利用できる駐車区画 ※イメージ

区画のある施設は県ホームページで確認できます



埼玉県 福祉部 福祉政策課 政策企画担当 TEL.048 (830) 3223 FAX.048 (830) 4801

埼玉県思いやり駐車制度 検索

シェイクアウト埼玉の実施 ～ご参加ありがとうございました～

令和5年9月1日、11時58分、県内一斉防災訓練として「シェイクアウト埼玉」を実施いたしました。シェイクアウト訓練は、2008年にアメリカカリフォルニア州で始まった、短時間で、誰でも、どこにいても実施できる防災訓練です。時間になりましたら、それぞれの自宅・学校・職場等で訓練を実施してください。主催者からの合図はありません。

シェイクアウト訓練の後は、さらにプラスワンの取り組みとして災害用伝言ダイヤル(171)の体験利用などをしてみましょう(災害用伝言ダイヤルは防災週間や毎月1日と15日などに体験利用できます)。これからも皆様のご協力をお願いいたします。



埼玉県 孤独孤立対策ポータルサイト **あなたはひとりじゃない。** つながる SAITAMA 孤独・孤立対策 **相談してみませんか？**

【経歴】●八潮市立八条中学校卒業●浦和実業学園高校卒業●東京コミュニケーション専門学校卒業●明治大学専門職大学院グローバルビジネス研究科修了MBA(経営学修士)●平成17年八潮市議会議員に初当選●平成21年、八潮市議会議員に二期目当選●平成27年、埼玉県議会議員に初当選●平成31年埼玉県議会議員に二期目当選●現在：経済・雇用対策特別委員会委員長●議会運営副委員長、福祉保険医

療委員長など歴任●所属団体：八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八条有志クラブ他 www.udagawayukio.com/



ご意見をお寄せ下さい

宇田川ゆきお県政事務所

〒340-0801 埼玉県八潮市八条393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099 E-mail.contact@udagawayukio.com

情熱 責任 真摯 覚悟 埼玉県議会議員 宇田川 ゆきお 県政報告 令和6年 2月3日発行 早春号 Vol.22

発行：埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所 〒340-0801 埼玉県八潮市八条393 TEL.048-932-4055 FAX.048-934-7099



宇田川ゆきお県議 巻頭所感 3期目・想いも新たに！ 地域の未来に全力を尽くす。

提言をしてまいりました。お陰様で少しずつカタチが見えてきたものもあります。

3期目はこれまでの政策をさらに前に進めながら、様々な課題について多くの県民の皆様のご意見やお知恵を賜りつつ、明るい未来を切り開くべく精進を重ね全力を尽くしていく決意です。

これまで得た経験と先を見据えた政策でさらに活発な活動を！

地方自治の基本的な役割は「市民の安心と安全を担保すること」だといえま

す。予測不可能なさまざまな災害に対して、事前事後の対策を講じることが市民の信頼を得ることにつながります。

八潮市は、本年より新庁舎の供用を開始しました。新庁舎は市民の皆様が行政にアクセスしやすい環境整備がなされ、市民の皆様同士もつながるサークルを意識されたものとなっています。防災機能を高めた、災害に強いまちづくりの拠点です。新庁舎が、新しい八潮市の象徴となり皆様に親しまれることを期待しています。

八潮市は市域全体が平坦で有り、中川・綾瀬川等の流域であることから「水」との戦いが繰り返されてきました。多くの言い伝えの中にも苦難の連続だったことがうかがわれ、都市化の進展と共に浸水被害を防止するための遊水池の整備や排水機能の強化が求められています。

まちづくりを進めるにあたって安心・安全を基調にしながら「夢」を描くことが必要です。それはさらに住みよいまちを目指して夢を追いかけることです。

八潮市には外環道八潮パーキングエリア、八条橋渋滞解消、大場川新橋構想、公共施設跡地利用、スポーツ・文化施設の充実、そして地下鉄8号線の整備着手などのハード面での夢が有り、高齢者対策、

【2面に続きます】



大山しのぶ市長と八潮の未来のため力を合わせる



宇田川 ゆきお、3期目を迎えてさらにパワーアップ

宇田川ゆきおは、引き続き、現場を歩き、見て、対話をし、実情に触れる「現場主義」を貫きます。現場の声と理論を組み合わせ、実効性のある政策立案をし、人口減少・超少子高齢化社会や自然災害、物価高騰対策、地域経済の発展など多くの課題に、皆様の声を集約し、皆様の期待に応えてまいります。

子育て世代支援、特色ある教育の推進、健康管理施設の充実などソフト面での夢もあります。

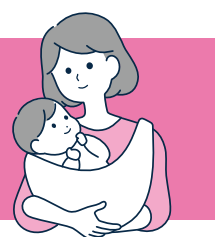
市・県・国が連携し、これらの課題を解決

し、夢を実現していくことが私・宇田川ゆきおの使命です。今後も大山忍市長としっかりとタッグを組み、大野知事とスクラムを組んで、埼玉県そして「住みやすさナンバー

1のまち八潮」のために全身全霊を捧げる覚悟です。

埼玉県議会議員 **宇田川幸夫**

子育てしやすい社会へ向けて意見交換



宇田川ゆきお県議は、産前産後ケアや子育て支援について、かねてより力を注力してまいりました。さらに深掘りした政策を打ち出せるよう、さら助産院（代表 助産師

直井亜紀院長）にご協力をいただき、現場からの声を伺いました。直井先生、さら助産院を利用されているママの皆様と県議、市議との間で、日々感じていらっしゃるこ

とや、現状の課題について、今後のあり方や方向性について有意義な意見交換をさせていただきました。

産前産後の制度について、フラットで使いやすいものにできるように、また、ママ友のみならずパパ友との交流やパパ事業の復活などお互いに理解をしながらコミュニケーションをとる重要性を再認識した、大変に有意義な会となりました。

産前産後、子育てを通じて母親が社会から取り残されないように、また、子育て中の方々が安心できる社会になるように今後も提言をし、カタチにできるよう、これからも全力を尽くしてまいります。



県議会の経済・雇用対策特別委員長として視察！ DXの最新の活用例、従業員のリスクリングの現場を見る

北陸先端科学技術 大学院大学を視察

北陸先端科学技術大学院大学は、2023年4月、ヘルスケア・医療分野のDXとバイオメディカルイノベーションを推進する「超越バイオメディカルDX拠点」を開設しています。同施設は、技術や知識をシェアして共創する「シェアードオープンイノベーション」という新しい考え方にに基づき、オープンラボを備え、幅広い知見や技術を有する多種多様な業種・業界との交流を推進しています。スーパーコンピューターを活用したデータの駆動型のDXを組み合わせ、がんをはじめとする様々な疾病の超早期診断、創薬ツールなど、医療・ヘルスケア・メディカルなどに関わる広い分野のイノベーションを目指しています。

埼玉県においては、県内産業の持続的な成長と県民生活の質の向上につながる科学技術・イノベーションの創出の振興が課題となっています。このことから、先端産業の創出における参考として、この視察を通じて得た知見を活かし、活動してまいります。



石川樹脂工業 株式会社を視察

石川樹脂株式会社（石川県加賀市）は、3Dデジタル技術で誕生させた新食器ブランド「ARAS（エイラス）」を製造、販売しています。これは、高いデザイン性と耐久性、ガラスと樹脂を組み合わせた「環境にやさしい新素材」を使用しているのが特徴です。また、同社はロボットを導入し、生産工程の自動化を図ることで、技能実習生頼みから脱却し、労働生産性を1.9倍に向上させています。その背景には、3Dデジタル技術の習得、自社の工程にあったロボットプログラムを自ら柔軟にプログラミングできるようにするための従業員のリスクリングが鍵でした。

埼玉県内の中小企業のDX推進のため、企業における従業員のリスクリングの課題に対する参考例として視察を行いました。従業員のリスクリングを行うことで自社ブランドの創出や生産性の向上をなしとげた成功事例を視察することで、埼玉県においてもこのような事例が多く生み出せるよう提案してまいります。



9月定例会のご報告

自民党県議団の提言により一歩前進！ 子ども医療費の助成拡大へ

**こどもの医療費を無料にする
県の助成制度を拡大。通院は
小学3年、入院は中学3年まで
～県内の子育て支援の拡充と
市町村の財政負担の軽減へ～**

自民党県議団は、子ども医療費の県による助成の拡充にこれまで取り組んでまいりました。そして、9月定例議会において、自民党県議団の浅井明議員の一般質問に対する答弁にて、大野知事は28日、子どもの医療費を無料にする県の助成制度について、未就学児までとする対象を来年度から拡大し、通院は小学3年、入院は中学3年までとする方針を明らかにしました。また、

所得制限も撤廃する考えを示しました。

子どもの医療費は、すでに全63市町村が中学3年までを無料にしています。県が対象を拡大することで市町村の財政負担を軽減し、子育て支援策の拡充を後押しとなります。これまでの取組みが一歩前進いたしました。これからも埼玉県の子育てのしやすい環境づくりに邁進してまいります。

9月議会補正予算 165億1,057万9千円

昨年9月の補正予算では下記が決定しています。令和6年の本予算に向けて、宇田川ゆきおは、皆様からの要望をかたちにするため、さらに、努力をして参ります。

◆
■ **高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続**

大場川マリナーにて



感染が発生した場合の高齢者・障害者施設等のサービス提供体制を維持するため、引き続き人員確保や衛生用品などのかかり増し経費に対する補助。

■ **企業版ふるさと納税を活用した**

eスポーツの普及・裾野拡大に要する経費
eスポーツが有する地域の活性化などの多彩な可能性を実証するため、企業版ふるさと納税を活用し、プロ選手によるエキシビジョンマッチや誰もが参加できる体験会などの普及イベントを実施するとともに、高校生を対象としたトレーニングキャンプの開催。

■ **公共事業の追加・適正工期の確保に要する経費**

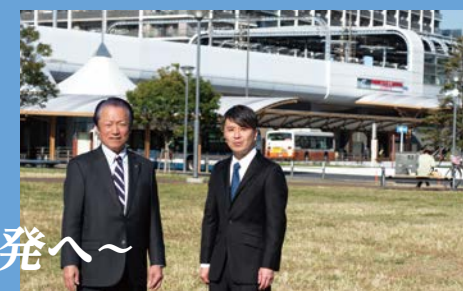
（例）越谷野田線（松伏町）工事着手の前倒し（令和6年4月から令和5年10月予定）等

Topic



つくばエクスプレス（TX）八潮駅に「快速」が停車へ！

～朝のラッシュ時に八潮駅始発
「秋葉原」行きの普通列車2本増発へ～



皆様からの要望も多かった、八潮駅の快速の停車がついに実現いたします。3月16日（土）のダイヤ改正で、新たに**八潮駅に快速が平日43本、休日63本停車**いたします。

また、平日朝のラッシュ時も**八潮駅始発の秋葉原行きの普通列車が2本増発**されます。都心へのアクセスもよりスピーディーに便利になり、また乗降客数の上昇により混雑状況の緩和へ向け始発の増発などより利便性の高い駅となります。これを契機に八潮市の更なる発展に大山忍市長とともに全力を尽くしてまいります。